

2025年10月09日

東京都知事 殿



郵便番号101-0062

特定非営利活動法人の主たる事務所の所在地

東京都千代田区神田駿河台二丁目4番4号明治書房ビル2-B

特定非営利活動法人の名称

特定非営利活動法人アジアの誇り・アレアビビア日本協会

代表者氏名 伊藤 一正

電話番号 03-5259-5070

ファクシミリ番号 03-5259-5073



事業報告書等提出書

（令和 6 年度）

前事業年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）の事業報告書等について、特定非営利活動促進法第29条（同法第52条第1項（同法第62条において準用する場合を含む。）の規定により読み替えて適用する場合を含む。）及び特定非営利活動促進法施行条例第4条の規定に基づき、下記の書類を提出します。

記

- 1 事業報告書
- 2 活動計算書
- 3 貸借対照表
- 4 財産目録
- 5 前事業年度の年間役員名簿
- 6 前事業年度末日における社員のうち10人以上の者の名簿

2024年度 事業報告書

2024年4月1日から 2025年3月31日まで

特定非営利活動法人アジアの誇り・プレアビヒア日本協会

1、事業の成果

2024年4月～2025年3月は、カンボジアも新型コロナウイルスから完全に回復し、エコビレッジ地域も観光開発に着手となり、地域開発の新たなステージとなった。

協会活動の柱として、地域の農家の方々を支援して確立した農作物栽培も新型コロナウイルスの影響から販売先が激減した事から離農者が続出し、一時期は存続も危ぶまれたが、残った方々と共に再生に着手し、将来を見据えて一步一步成果が得られるように回復してきた。

協会活動も2024年度で設立15周年となり、当時幼児であったエコビレッジの子供達も今や高校生となり、地域の主役になりつつある。2025年3月には、現地で農家の方々と共に記念の植樹、報告会などを開催し、次の15年に向かって新しく歩き出した。現地渡航も可能となり、是非とも多くの方々に現地を訪問していただき、子供達や地域の方々の笑顔に出会っていただきたく願います。以下、具体的な活動状況を報告する。

（1）植樹活動

今年度は、①中友好会館による「2023年度日中植林・植樹国際連帯事業」での、エコパーク及び近隣地区での花木公園整備を計画し、2025年1月までの期間で約3,200本の植樹を実施、②イオン環境財団による助成事業「カンボジア王国プレアビヒア州エコビレッジ地区森林環境修復活動」にて1,700本の植樹が実施できた。また、日中友好会館からは2022年度事業植樹の維持管理で除草・給水活動の助成支援も得られ、給水活動、除草作業活動などが実施できた。植樹にあたっては、地域住民の共同を得ると共に、カンボジア内の大学生の支援も得られた。

（3）農村支援活動

既事業によるエコパーク区域の溜池（総貯水量18,000m³）、及び各溜池から近隣農家への給水パイプは継続して稼働している。残念ながら2023年度にはコロナ禍による離農者の増大で地域の農業生産量は大幅に減少した。現存、各農家は安定した農業展開を継続すべく協会と連携して、継続的な協議（隔月ごとの面談協議会開催）を実施し、今後の展開事業や各農家で実施可能な家禽飼育、果樹栽培、共同農業の仕組み構築、技術研修会の開催計画などを目指すこととした。

（4）会員増強活動（含むホームページ刷新）

会員増強活動と同時に当協会のイメージアップを目的として、HPなどでの情報発信を積極的に実施。また、イオン環境財団助成に伴い、イオングループの各店舗や関連事務所に当協会の活動を含む情報の発信を行ってもらい、広く会員や一般への活動周知に繋がった。さらに、協会活動を会員や広く一般にも伝達できるように、ニュースレターを継続して発行し、現地の活動を一般にも報告するに至った。

（5）会員による現地訪問支援と地域との交流

外部からのエコパーク及び世界遺産の訪問者に対して、協会メンバーが現地スケジュールや来訪者と地域の交流を計画し、複数回の対応を実施した。特に2025年3月には協会の活動開始15周年を記念し、カンボジア政府文化芸術省ナショナルオーソリティ機構と共同して記念講演会、記念植樹などを開催した。協会からも6名、カンボジア国内からも王立プノンペン大学学生26名、ナショナルオーソリティから8名、住民の方々約40名等の参加を得て15年の活動を記念した15本の記念樹の植樹、将来の農業への期待から日本産さつまいもの苗木を農家の方々と試験植付を実施した。

これらの活動は協会の現地活動を広報する良い機会となった。

2 事業の実施に関する事項
(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び 人数	支出額 (千円)
アジア地域の 遺跡周辺自然 環境保全、 修復事業	遺跡周辺整備 (遺跡周辺道路の美化活動)	年間	カンボジア国 プレビヒア遺跡 周辺、エコビレッ ジ地区	2人	住民 200人、観光 客5,000人/年	8
	環境保全地域と開発推進 地域に関する研究と協議 (コンセプト作成、提案協 議、現地調査)	年間	カンボジア国 プレビヒア・エコ 村、東京法人事務 所(現地協議実 施)	5人	住民 800人、観光 客8,000人/年	21
植林、植樹、 苗木の育成 および事前 調査事業	植林 (エコパークを中心とし た植林)	年間	カンボジア国 プレビヒアエコ 村地区、東京法 人事務所(助成事 業で実施)	80人	住民 200人	4,634
地域住民の生 活向上と自立 のための人材 教育、職能訓 練、農業支援 事業	農村支援、 オーガニック農業技術支援 事業計画実施の基礎調査実 施に向けた地域住民との協 議実施	年間	カンボジア国 プレビヒアエコ 村地区、東京法 人事務所	5人	住民 50人	1,732
遺跡並びに周 辺地域の観光 資源開発支援 事業	観光事業コンセプト作成、 提案、協議 中長期の事業計画の作成 準備	年間	カンボジア国 プレビヒアエコ 村地区、東京法 人事務所(現地協議 実施)	5人	住民 50人、観 光客5,000 人/年	98
子どもたちの ための教育支 援事業	協会員による教育支援活 動(文化遺産・環境保全・ スポーツ交流教育)	年間	カンボジア国 プレビヒア地区 小中学校、植樹会 への参加を通し て	6人	子どもたち 100人	215
日本のNG Oと海外NG Oとの連 絡調整およ び交流支援 事業	・日本及び海外他NGOと のネットワーク作り	年間	カンボジア国 プレビヒア遺跡 周辺	2人	NGO関係者 5人 カンボジア青 年	0

遺跡全般に係る広報事業	広報活動 ホームページ更新 会報誌企画	年間	カンボジア国プ レアビヒア遺跡 周辺、東京法人事 務所	2人	関心ある一般 市民500人	370
-------------	---------------------------	----	--------------------------------------	----	------------------	-----

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の 人数	支出額 (千円)
物品販売事業	なし	なし	なし	なし	0
機関紙等への 広告掲載事業	なし	なし	なし	なし	0